

# 決算特別委員会の概要

決算特別委員会は、平成30年11月5日から8日までの4日間の日程で開催し、29年度の決算審査を行い、認定しました。  
ここでは、決算特別委員会での主な質疑の内容を紹介いたします。

## 決算特別委員会（質疑の抜粋）

### 【総務費】

シエアハウス改修等補助事業について

**問** 成果について問う。  
**答** 空き家1件が補助対象として改修整備され学生3人が入居した。

### 【衛生費】

乳がん検診について

**問** 乳がんの視触診による受診者が激減した原因を問う。  
**答** 29年度からは対象者を20歳から39歳までの女性に限定したためである。

**問** マンモグラフィによる検診を毎年受診できるようにしてはどうか。  
**答** 今後検討する。

### 【商工費】

地域循環型コミュニティポイントシステム環境整備事業について

**問** 配布されたWAONカードのうち、アクティブに利用されている枚数を把握できているか。  
**答** 実際に付与されたポイントの動態で経済効果を測定している。29年度は約910万円の流通、経済効果があった。



三原うきしろWAONカード

### 【土木費】

市営住宅入居要件の連帯保証人について

**問** 2人の連帯保証人の確保が困難である。民間の家賃保証制度を導入すべきではないか。  
**答** 保証人は制度上必要であり、適切な公営住宅運営に向けて、早急に取り組む。

### 【討論・採決】

・反対討論

## 補正予算特別委員会（概要と質疑の抜粋）

一般会計補正予算（第7号）の他、駐車場事業（第1号）1570万円減額と円一町駐車場管理費の減額分・利用者増による増収分の一般会計へ繰り出し、土地区画整理事業（第2号）1500万円を限度として翌年度に繰り越し、公共下水道整備の繰り延べ、国民健康保険（事業勘定）（第1号）1億5000万円増額、後期高齢者医療（第1号）後期高齢者医療広域連合納付金1914万5千円を追加納付、介護保険（第1号）1200万円減額、一般会計補正予算（第8号）2億7600万円を限度として翌年度に繰り越すものです。

### 【人件費】

**問** 人事院勧告に準じた特別職及び議員に係る期末手当の改定に関して、7月豪雨災害をふまえ、引き上げの是非について検討を行ったのか問う。  
**答** 被災自治体として、検討を行った。

### 【衛生費】

**問** 交付実績と成果を問う。  
**答** 29年度実績は、一般不妊治療10件、特定不妊治療48件。成果は、30件に母子健康手帳を交付、26件の出産を確認した。

**問** 不育症治療等に対する補助について検討を行ったか問う。  
**答** 県内では6市町が公費助成を行っているが、診断が難しい。引き続き、県や他市町の情報収集に努めていきたい。



### 【一般会計補正予算（第7号）修正案】

歳出のうち、議員報酬手当67万7千円、特別職給与費18万5千円、合計86万2千円を減額するとともに、歳入は繰越金を86万2千円減額するもの。

**問** 修正案の趣旨について問う。  
**答** 7月豪雨災害の被災者は現在も厳しい生活を強いられ、期末手当の増額改定は市民の理解を得られない。

**問** 修正案の妥当性について問う。  
**答** 県内各市と足並みをそろえるより、議会と市民、行政と市民との関係を重んじるべきである。

### 【採決】

議第124号修正案について賛成少数により否決。議第124号原案について賛成多数により可決。他の6件について全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。